

21.5奈良ばい谷戸から小山田緑地

担当 松永 090-1609-5814

期日 2021.5.6日(木)

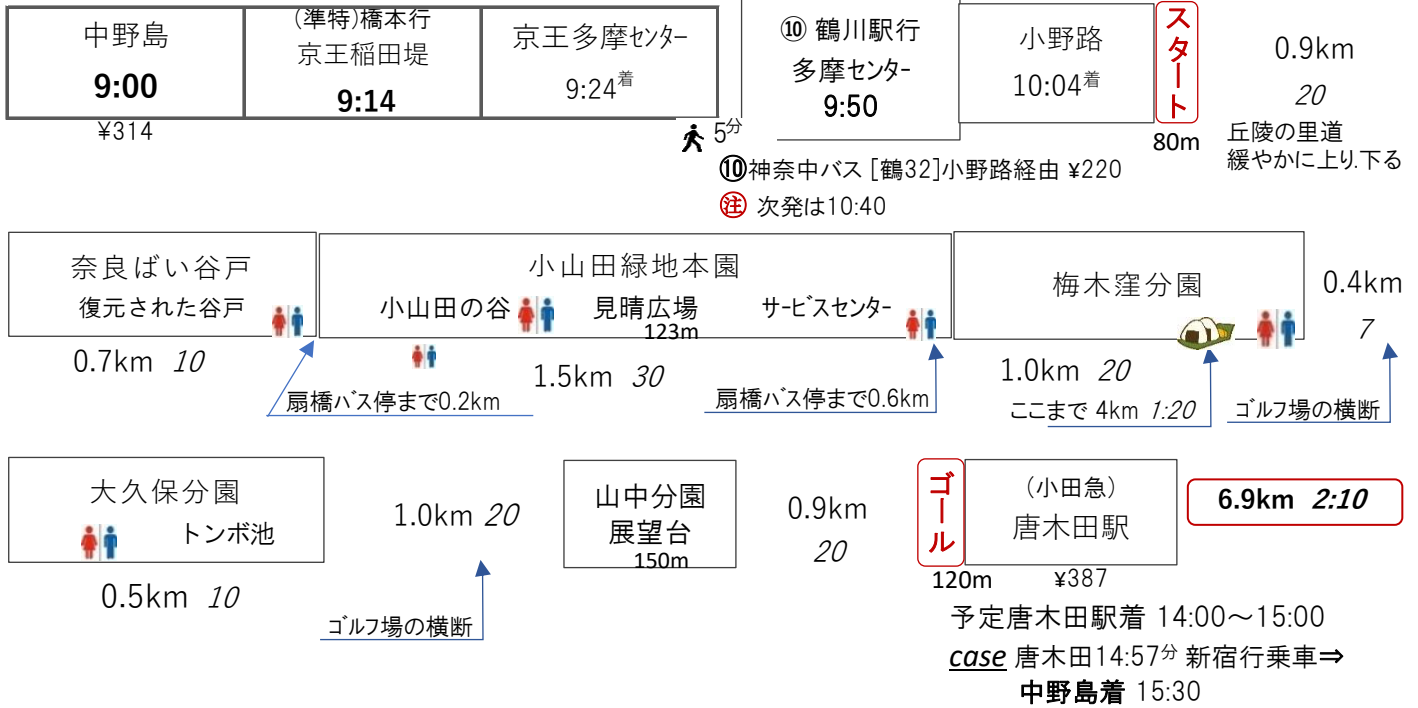
斜数字 休憩等を含まない実歩行時間

集合 中野島駅 8:55

km 坂階段を考慮しない地図上の水平距離

昼食 弁当 (見晴広場又はアサザ池休憩地)

m 地点概算標高(5m単位でマップに表示)



コース概要 往時の多摩丘陵の風景の面影を残す多摩丘陵の中心地を歩きます。谷戸と里山を横断しながらの歩きになるので、土の道を含む緩やかな上り下りの道で、園内には木段もありますので念のためのストックがあれば安心です。地図上の水平距離にして7kmの雑木林と野の風景の緑散歩です。急坂など危険箇所はありません

エスケープ は計画としては考えていません。扇橋バス停から多摩センター行 毎時 54分発があります(マップ参照)

昼食 弁当昼食です。本園の見晴広場或は梅木窪分園のアサザ池休憩地の現地状況みでの現地判断になります

奈良ばい谷戸 住宅公団がこの地を先行買収したものの、採算の見通したらず放置→ネザサ等の荒地化→町田市が買い取り→市の公募によるボランティアの手により復元・保全されており、現在会員は65名を超え、手を入れている田畑10,000㎡、樹林地57,000㎡、整備した道3kmに及んでいます。寺家ふるさとの村がそこで暮らす人たちの営みと自然との調和であるのに対し、ここは生活者はいないボランティア活動により保全されている谷戸です(写真左 2月の風景)

県立小山田緑地 総面積147ha。うち開園面積45haの緑地で、コナラ、クヌギ、シラカシ等の雑木林の里山や溜池を残し、往時の多摩丘陵の風景の面影を見ることができます。緑地は本園と3つの分園に分れており、それぞれが特徴を持った緑地として整備されています。以下の4つの緑地を順につないで歩きます

本園 奈良ばい谷戸の隣にある溜池が並ぶ谷戸(小山田の谷)から本園に入ります。雑木林の尾根を越えるとトイレ、芝生が広がる運動広場があります。その南の尾根は標高123mの芝生の見晴し広場で、木陰付のテーブルベンチが空いていれば昼食弁当の候補です(写真中央左)。ここは関東富士見百景の一つになっています(丹沢&富士山)

梅木窪分園 本園に続く梅木窪分園の里山の雑木林の小径を歩きます(写真中央右)。コース途中の案内標識に出てくるうさぎ谷に架かる吊橋があります。谷戸に下りると絶滅が心配されているアサザが群生するアサザ池があります。ここには東屋テーブルベンチ・トイレがあり弁当昼食の候補地です

大久保分園 梅木窪分園からゴルフ場を横断して、尾根が展望台になっている大久保分園に入ります。この芝生の尾根からは多摩丘陵の風景が開けています。案内標識に出てくるトンボ池へ下りて、木道を上り返します(写真右端)

山中分園 雑木林の斜面には木段を含む起伏が大きい遊歩道が整備されていますが、今回は割愛して上の尾根に付けられている平坦な尾根道歩きます。山中分園展望台からよこやまのみちを唐木田駅へ下ります(マップ参照)



奈良ばい谷戸



本園見晴し広場



梅木窪分園 雑木の尾根道



大久保分園トンボ池

マップ 奈良ばい谷戸から小山田緑地

マップ1



マップ2

